

鶴崎中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月8日(金)

秋田谷 和音さん

【社会医療法人財団 天心堂へつぎ病院】

演題 言語聴覚士ってなに??



高齢者から子どもまで言語訓練をしている言語聴覚士の秋田谷さん。中学生の人気職業ランキングで言語聴覚士が第3位になったことを話し、仕事内容の説明をしました。生徒たちはペアワークで飲み込みの検査を体験。水でむせる人は、とろみをつけた水の方が飲みやすく安全なので、実際にとろみをつけた水を作り、飲んでみたいという生徒が試飲をしました。また、聴診器を実際に見せ、のどに当てて飲み込む音を聞くことも説明しました。生徒の皆さんに「自分の好きなこと、興味のあること、楽しいと思えることを将来の仕事にしてみたい」、「中学では友達と楽しく学生生活を送ってください」と伝えました。

伊藤 輝さん

【(株)熊野建設】

演題 現場監督ってどんな仕事?



建築の現場監督をしている伊藤さん。建設業や仕事の内容を工事写真を使いながら説明しました。工事写真は設計図通りに仕事が進んでいるか確認するためのものです。また、2級建築士問題をクイズにして生徒たちに考えてもらいました。そのほか、実際に使っている建築用メジャーで机の高さなどを計りました。初めての現場で感じたことは「分からないことばかり。建物に愛着がわきます。現場所長として社会に貢献したい」などで、「とにかくいろんなことに挑戦してみてください。挑戦して分かることがあります。いろんな知識を身につけてください」と伝えました。

柳井 実奈さん

【社会福祉法人 萌葱の郷】

**演題 福祉のお仕事ってどんなこと
～楽しいこと、大変なこと**



児童の発達支援の指導員をしている柳井さん。「児童発達支援センターなかよしひろば」の紹介をし、どんな職員が働いているのか説明しました。子どもたちと遊びながらサポートをする仕事内容で、子どもたちを呼ぶ着席活動のための「コロコロボール野菜編」を動画で見てもらいました。子どもたちが色を覚えたり、色から連想するものを考える訓練にもなります。「自分が元気じゃないと、よい支援ができない」という自分自身の体験から、生徒の皆さんに「自分自身を大切に。ストレスを溜め込まないように」とメッセージを送りました。生徒たちは質問をたくさんしてくれたそうです。

鶴崎中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月8日(金)

板井 清成さん 【社会福祉法人 太陽の家】



演題 介護の仕事とは

障がいをお持ちの方の相談支援専門員をしている板井さん。人生において困っている方の相談対応や必要な福祉サービスのコーディネート役です。「太陽の家」の仕事内容を話し、福祉にはいろいろな仕事があることを説明しました。また、転職の経緯などを質疑応答を交えながら話しました。生徒の皆さんに「福祉の仕事で大事なことは、最後までしっかり相手の話を聞き、相手を受け入れ、否定しないことです」と伝えたほか、「中学生の今、皆さんにして欲しいことは、挨拶、早寝早起き、勉強、部活、お手伝い、宿題などたくさんありますが、一番は、ひとつひとつの出会いを大切にすることです。そして人生を楽しんでほしい」というメッセージを送りました。楽しい講演だったそうです。

藤田 悠斗さん 【(株)三井E&S】



演題 これから考えてみてほしいこと

クレーンの配線や配管ルート設計の図面作成、ケーブル等の注文書作成をしている藤田さん。会社の説明をし、地図を見せながら「大分工場の敷地はクジラみたいな形をしています」と紹介しました。会社を選んだきっかけは「大分で働きたい。設計業務がしたい。家が近い」ことだったと話しました。また、実際にクレーンに使うケーブルを生徒たちに回覧しました。生徒の皆さんに「好きなことや目標を見つけてほしい。何でも挑戦してほしい。『なぜ?』と思ってほしい。自分自身の理解が深まります」と伝えました。質疑応答では盛り上がりを見せました。

玉垣 マリモさん 【一般社団法人 若葉会】



演題 人生を楽しむということ

言語聴覚士の玉垣さん。言語聴覚士がこういった機能回復訓練を行うのかなどを説明しました。生徒たちに「食べられなくなるとどうなるか?」を考えてもらい、答えてもらいました。ちゃんと食べられているのかの実演や、話せるようになるための訓練をグループワークで行いました。生徒たちは生きていくために大切な訓練を体験しました。生徒の皆さんに「これから進路を選択していくなかで、何が好きか、何が嫌いかなど、自分を分析し、自分を知ることが大切です」、「仕事の種類や内容を調べ、いろんな人に聞いてみましょう」と話しました。また、「夢を叶えるために必要なことは、知識とやる気です」と伝えました。

鶴崎中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月8日(金)

後藤 悠斗さん
【大分ダイハツ販売㈱】



演題 “きっかけ”は日常の中に。

自動車整備士の後藤さん。自動車整備士は国家資格が必要で、車社会の安全を守るカー・ドクターであり、修理、定期点検、車検などの仕事内容のお話をしました。整備士を目指したきっかけは、日常の中にあり、「誰かのために何かをするのが好き。車を触るのが楽しそう。機械や構造に興味がある。モノを直すのが好き。地元大分に貢献したい」ことだったと話しました。生徒たちはグループワークでメカグルマの工作を行い、どの班が一番最初に作り終わるか、班員同士でお互いに助け合いながら競争をしました。

生徒の皆さんに「周囲の人から感謝される人になってほしい。感謝の言葉を言える人になってほしい」、「失敗を恐れずチャレンジしてほしい」と伝えました。

吉野 愛己さん
【社会福祉法人 若草会 創生の里】



演題 訪問介護の仕事とは？

訪問介護ヘルパーとしてご自宅へ伺い、生活で困っているところをお手伝いしている吉野さん。黒板に具体的なお仕事の絵を貼って説明をしました。

生徒の皆さんに「自分の心の声を大切にしてほしい。小さな声を大事にすることで幸せを拾いやすくなります」、「嫌なことがあっても振り回されない心の土台作りをしましょう。嫌なことがあっても受け止め方で全然違います」、「優しい声を自分にもかけて、幸せな気分を作りましょう」と話しました。最後に生徒たちにドラえものの絵を描いてもらい「ドラえもんを知っているから描けます。知ったらツールが出来ます」と伝えました。



1年生8クラス。アドバイザーが2つのクラスで講演を行い、生徒たちは2人のアドバイザーの話を聞きました。1年生という時期に、将来どのような仕事をしたいのか考えるきっかけ、ヒント作りにつながる講演となりました。元気で笑顔の多いクラスばかりでした。